

明石西高の2人全国へ

ライフル射撃 近畿で好成績

ライフル射撃の全国大会に出場する
小川創史さん(右)と山室りささん＝
明石市二見町西二見



近畿高校秋季ライフル射撃選手権大会で、明石西高校のライフル射撃部員2人が上位入賞し、3月に広島県で開催される全国大会への切符をつかんだ。1ミ以下¹⁰⁰の精度を高めるため、日々練習に励んでいる。
いずれも2年生の小川創史さん、イフルで競う部門に出場。史さんと山室りささん。11し、小川さんは男子4位、月に大阪府であった近畿大。山室さんは女子6位になった。光線が出るビームラた。
(有富晴貴)

小川創史さん「全力出し切る 心がけ」
山室りささん「1射ずつ集中 大切に」

10ミ先にある直径5ミ未満の的を狙う。10点以上の中心部は1ミで、その中でも最大10・9点まで細分化されており、60回射撃して合計点を競う。さらに本選の上位8人が順に射撃し、点数の低い選手から脱落していくファイナルで優勝を決める。

本選では2人とも1射あたりの平均で10点以上を獲得。しかし小川さんは「ファイナルで緊張して8点を出してしまい、それがなければもつと順位を上げられたかも」と悔やむ。山室さんも「普段通りの実力を出せればもう少し高得点を取れたはず」という。

競技のスタイルには選手の個性が出る。小川さんは左手の手のひらで銃身を支えるが、山室さんは手の甲で支える。本選の制限時間は45分だが、小川さんは早ければ15分ほどで撃ちきり、山室さんは約30分かける。小川さんは他の選手と比べても1射ごとの間隔が短い。「自分のテンポを大事にしたい」という。

全国大会に向けて、小川さんは「全力を出し切れたと思えるような射撃をしたい」。山室さんは「1射ずつ集中することを大切にしたい」と意気込んでいる。